群マネの実施方針（宮城県34市町村）

［自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果］

「技術系職員が少ない市町村における技術的判断・経験が必要な橋梁分野への技術的補完」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

業務プロセス ＼ インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路		巡回 清掃 除草 剪定	橋梁	橋梁	橋梁	橋梁 （積算・監理）
			舗装	舗装	舗装	舗装
			道路附属物	道路附属物	道路附属物	道路附属物
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル

□平成20年度～
県内34市町村で、計画策定、点検を（公社）宮城県建設センターに委託

□平成30年度～
一部市町村（17/34自治体）で、工事の積算・監理を同センターに委託

□令和9年度～
一部市町村で、補修設計を同センターに委託予定（試行）

②発注方式等

□ 契約期間の複数年化 ：有・(無)
□ 性能規定の導入 ：有・(無)

（2）自治体の束

34自治体

※1 点検のみ ※2 長寿命化のみ 濃紺は積算・監理含む

白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町
柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市※1
岩沼市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町
大和町	大郷町	富谷市※2	大衡村	大崎市	色麻町
加美町	涌谷町	美里町	栗原市	石巻市	東松島市
女川町	登米市	気仙沼市	南三陸町		

委託費
委託契約

□各市町村は、建設センターと点検・計画策定、工事積算・監理に係る委託を個別契約
⇒建設センターが一貫して実施することで、点検・診断・計画策定の精度・品質の統一性を担保、工事積算・監理の公正性・公益性を確保
□建設センターと連携協定を締結している東北大学IMCは、市町村の維持管理に関する調査・研究、人材育成を支援

（公社）宮城県建設センター
直営による点検・診断・積算・監理

連携協定
一部外部委託

東北大学IMC
事業者等（IMC関連）

□ 地方自治法上の共同処理制度の適用：有・(無)
□ 連携協力道路制度の活用：有・(無)

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒ 市町村の技術職員を対象とした東北大学IMCとの連携協定に基づくインフラメンテナンス勉強会、新技術等の実証現場見学会等により情報共有を図る。

②データ連携の具体メニュー

⇒ 建設センターでは、東北大学IMCとの共同研究で構築した「橋梁等維持管理システム」を活用し、1巡目から蓄積された点検・診断データを一括管理・公開し、調査・分析することで最適な維持管理方針や長寿命化修繕計画を立案。